



氏名 野村卓生

年齢 45

所属 関西福祉科学大学 保健医療学部
リハビリテーション学科 理学療法
学専攻

立候補の趣旨

日本糖尿病理学療法学会では、①「職能に資する研究の推進」、②「理学療法ガイドライン（糖尿病）の作成」、③「学術集会（学術大会）開催による研究成果の発表・討論に関する場の確保」、④「質の高い研究の実施を支援するための研究サポート事業の推進」ほかを日本理学療法士協会や日本糖尿病学会などの関連学協会と連携して進めてきました。学会としての目に見える活動成果としては、日本糖尿病学会や日本下肢救済・足病学会の機関誌や学術集会において、学会として実施した研究成果を発表してきました。理学療法ガイドライン（糖尿病）第2版を発表しました。学術大会に関しては、2021年末までに計7回、症例報告学術集会を計7回（うち1回学術大会と合同）主催しました。研究サポート事業では、研究方法論を教授する研修会を開催し、その参加者から大規模研究データベースを構築するための研究協力者を募っており、診療報酬の獲得につなげるための介入研究も進行中です。日本理学療法学会連合が発足、日本糖尿病理学療法学会も一般社団法人化し、学会として更なる発展を遂げようとしています。今回の理事選挙に当選させて頂いた際には、学会事業をさらに加速させ、質の高い研究成果を創出し、科学的根拠に基づいた理学療法の構築に寄与したいと考えています。また、学会法人化の目的の一つである日本学術会議協力学術研究団体への登録には機関誌の発行が絶対条件であり、編集委員会業務を通して目的を達成したいと考えています。皆様のご理解とご支援を賜りますように何卒よろしくお願い申し上げます。

役員歴

平成25年に設立された日本糖尿病理学療法学会では、設立から第3期まで代表運営幹事（任期満了）を務め、今も同学会の副理事長として学会活動に継続して関わっています。現在、同学会の編集委員会委員長を務めており、「日本糖尿病理学療法学雑誌」の発行に向けて編集委員会業務に注力しています。関連領域では、日本糖尿病学会の推薦で日本糖尿病療養指導士認定機構の講習会委員会委員、日本肥満学会の評議員・肥満症生活習慣改善指導士カリキュラム委員会委員、日本腎臓リハビリテーション学会の代議員・国内交流委員会委員などを務めています。